

(第3種郵便物認可)

1930年に「甲子園ホテル」として開業し、終戦後は進駐軍の将校宿舎などとして使われた武庫川女子大学甲子園会館＝西宮市戸崎町＝で11日、「楠松祭」が始まった。オープニングセレモニーには同女子大付属中学・高校マーチングバンド部「E i n s (アインズ)」が登場。将校宿舎時代の貴重な写真を紹介する写真展もある。18日まで。(中島摩子)

旧 甲子園ホテル 歩み伝え 武庫川女子大甲子園会館

旧甲子園ホテルは、近代建築の巨匠といわれる米国の建築家フランク・ロイド・ライトの弟子、遠藤新が設計し、「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と称されている。

建物の歴史アピールする「楠松祭」開幕



終戦後の写真展示も

④笑顔いっぱいの演技、演奏を披露する武庫川女子大付属中学・高校マーチングバンド部のメンバー ⑤写真展では、進駐軍の将校宿舎だった時代のクリスマスパーティーの写真などを展示＝いずれも西宮市戸崎町



65年に同大学を運営する武庫川学院が譲り受け、教育施設として使用。楠松祭は、歴史的建造物を知ってもらうことを目的に、2003年から実施している。

オープニングセレモニーで「E i n s」の部員59人は、フラッグなどを手に舞い、息の合った演奏を披露。大きな拍手が送られ、井垣ひなた部長(17)は「一人一人が練習の成果を出し、笑顔と感動を届けられた」とこやかに話した。

写真展は旧甲子園ホテル写真展「米軍将校宿舎時代」。同会館庶務課によると1945年から57年に

かけ、進駐軍の将校宿舎やクラブだったころの写真はほとんどなかったが、今春、西宮市情報公開課から56年に撮影されたクリスマスパーティーの写真を提供された。サンタクロースが登場しにぎわうパーティーの様子や、当時の外観など計20点を展示している。

同女子大庶務課 ☎079-8・67・0290